

こころ21だより

NPO法人 心豊かな家庭環境をつくる広島21

発行責任者／理事長 岸房康行

会報 第43号

2020年(令和2年)5月30日発行

事務局

〒730-0856

広島市中区河原町7-2 徒然社内

TEL 082-292-4507(金子)

FAX 082-292-4508

E-mail: kokoro21@tsure20.co.jp

こころ21

検索



今年の総会は「みなし総会」で

理事長 岸房 康行

日ごろは、NPO法人心豊かな家庭環境をつくる広島21の活動に対しまして格別なご支援、ご協力をいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染をめぐっては、緊急事態宣言が解除され、休業や自粛の要請も解除となりましたが、今後においても引き続き警戒の継続が求められております。

会員の皆さまの感染予防が最も重要でありますので、今年度は特定非営利活動促進法の規定に基づき、同意書提出による「みなし総会」とさせていただきます。ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、事業計画につきましては新型コロナウイルスの終息が見通せない中ではありますが、当NPO法人の活動は10月以降が本番となりますので、例年どおりの事業を計画しております。

また、フォーラムにつきましては新型コロナウイルスと共存する新しい生活様式の模索が始まっていますので、「これからの食生活を考える」フォーラムを開催できればと考えております。

このような状況でありますので、体調管理には十分気を付けてお過ごしくださいますよう、お願い申し上げます。

新年会開催報告

1月30日(水) 午後6時

広島市中区立町3-13 ひろしま国際ホテル 3階「サファイア」

ゲスト 広島市環境局業務第1課課長補佐 小林 一申氏

会員19人が出席して交流を深めました。昨年10月1日に食品ロス削減推進法が定められました。広島市内では家庭や飲食店、スーパーなどから年約3万トンの食品ロスが出ています。

小林氏は「食品ロスを減らすためには一人一人の取り組みが大切。幅広い世代がもっと関心を持ってほしい。宴会における大量の食品ロスが問題になっています。最初の30分、最後の10分、みんなで食べる時間を設けましょう。」と呼び掛けました。

なくそう、食品ロス!!

さん まる いち まる

30:10 運動

NPO法人こころ21は
この運動を支持します。



開催報告

フォーラム「ともに学ぼう 食育の大切さ」

令和2年1月25日(土) 広島市まちづくり市民交流プラザ

「基調講演」は自分の弁当作りを9年前から始められた、島根県吉賀町(旧柿木村・六日市町)の岩本一巳町長様。続いて小学校栄養教諭お二人の講師による「現場からの報告」。映像による具体的でユニークな食育活動の紹介に、参加者一同が興味深く聞き入りました。



岩本一巳町長



山城滋氏

10分間の休憩後、4人のパネリストによるパネルディスカッション。会場からの

質問にも答えるなど、中国新聞社・山城 滋氏による見事な司会進行により、貴重な意見交換ができました。

心豊かな家庭環境づくりは、「食」を中心にした活動が重要なことを再認識したフォーラムでした。

当日の参加者は約100人、たくさんのアンケートありがとうございました。(高東博視)



発表者



参加者アンケートから(一部の抜粋)

- ・学校現場での食育の大切さを実感。指導のヒントが得られた。
- ・このようなフォーラムに初めて参加、また参加したい。
- ・男性もっと食育に関心を持ってほしい。
- ・幼児期もさることながら、生涯食の大切さを再認識させられた。
- ・学校現場の取り組みをもっと地域にPRしたら良い。
- ・良い話なので、もっと若い人に聞いてほしい。

食育フォーラムに参加しての感想

男子クッキングにお招きした方の紹介で、日ごろから食育という言葉に関心を持つ仲間4人で参加させていただきました。

最初の吉賀町長のお話。9年間お弁当を作り続けているお姿には、大きな感銘を受けました。今は家庭を守る主婦であってもコンビニに、こよなく親しみを持つ時代。吉賀町長のような方を頂点に持つ子ども達は、なんと幸せなことでしょう。

小島先生の話された、毎日、全校児童が給食を一緒に食べる「お誕生給食」を実施されているお話に大変興味を持ちました。母親が朝食を作らない現状はとても驚きました。

阿壽賀先生のお話は、子ども達にパセリを育てさせ、それを使ってのメニューを考えさせられる現場学。これこそ今の教育の理想の姿でしょう。

白川先生のご指導には、食育紙芝居を通して幼子に、楽しくわかりやすく導かれるお姿を思い描きました。食育が、食材を選ぶ「食選」と、口に運ぶ「食戦」であることを痛感いたしました。ありがとうございました。

安佐北区 中本 真喜(なかもと まぎ)

津和野の神髄・悠久の歴史散策

ツアー行程

令和元年11月10日（日）晴れ

午前：国名勝「堀庭園」、太鼓谷稲成神社

午後：永明寺（県・重要文化財）、森嶋外の墓、藩校養老館ほか

当日は秋深まった絶好の行楽日和。幸運にも大型観光バスに、参加者 19 人がゆったりと座れた。高速道路を降りてからは、日本有数の清流・高津川と紅葉を満喫。恒例となった森保洋之先生の車内講義で、津和野の歴史をしっかりと予習もした。

現地では終日、地元のボランティア・ガイドさんの熱のこもった案内で歴史散策。終わりには、蒸気機関車「貴婦人」の力強い走りにも出会えて歓声が沸く。多くの参加者は津和野を何度も訪ねています。津和野の魅力は尽きないようです。（高東博視）



横文字語を考える

事務局長 金子 敏郎

東京都の小池知事のウイルス関連発言の横文字から考えてみました。

ウイルスによるクラスター「Cluster」が発生しオーバーシュート「Over Shoot」の状況になるとロックダウン「Rock Down」しなくてはなりません。とにかく、ステイホーム「Home Stay」することが必要です。ピークアウト「Peak Out」したその先にロードマップ「Road Map」を発表します。（大阪府知事の「出口戦略」に対抗して「ロードマップ」と表現か?）

小池さんのキャッチコピーセンス「Catch Copy Sense」は、「クールビズ」で実績があるだけになかなか止まらないのかもしれない。

都民は彼女のワード「Word」をスタディー「Study」することがマスト「Must」です。

リスペクト「Respect」すべき彼女の 이슈「Issue」

している情報がファクト「Fact」かフェイク「Fake」か、エビデンス「Evidence」を確認して、デシジョンメイク「Decision Make」が正しいかどうかをジャッジ「Judge」しなくてはならないかもしれません。

今後も都からのアラート「Alert」やワーニング「Warning」が発せられることでしょう。

かつて、正岡子規はベースボールを「野球」と訳し、それ以来日本には野球文化が根付いたと思います。そのことを思うと、外来語を上手に日本語で表現することは日本の文化を深めていくことにもつながるのかと考えます。

最後にマイナンバーカード「My Number Card」、国民の基本的情報として重要であるとするならば、日本語にしてほしいと思います。（「令和」にあれだけこだわったのだから）

子どものための音楽プロジェクト 2019

こども音楽 体験教室 (協力/広島文化学園大学)



- 第22回/ みゆき保育園 (西区) 10月15日 (火)
- 第23回/ 坪井保育園 (佐伯区) 11月 5日 (火)
- 第24回/ 矢野中央保育園 (安芸区) 11月12日 (火)
- 第25回/ 上安児童館 (安佐南区) 12月28日 (木)

こども夢コンサート (協力/エリザベト音楽大学)



- 第31回/ わかくさ保育園 (東区) 11月11日 (月)
- 第32回/ 温品保育園 (東区) 11月11日 (月)
- 第33回/ 本川保育園 (中区) 12月 9日 (月)
- 第34回/ 竹屋保育園 (中区) 12月 9日 (月)

※今年2月28日に、第35回こども夢コンサートとして矢野幼稚園で開催を予定していた、矢野東保育園、矢野中央保育園、矢野西保育園との交流事業は、新型コロナウイルス感染拡大が収まらないため中止しました。

今年度の予定

こども音楽 体験教室

- ◆亀山南保育園 (安佐北区) ◆中筋保育園 (安佐南区)
- ◆江波第二保育園 (中区) ◆深川児童館 (安佐北区)

こども夢コンサート

- ◆横川保育園 (西区) ◆庚午保育園 (西区)
- ◆青崎保育園 (南区) ◆仁保保育園 (南区)
- ◆矢野幼稚園 (安芸区)

編集後記 この時期における編集後記と云えばどうしても新型コロナウイルスのことを書かなくてはならない。小生は今回の外出自粛号令のもと、家での時間が多くなった。

そうした中でカーブも渋谷日向子のゴルフのニュースもないため、新聞・週刊誌等の政治記事に目を向ける時間が増えた。

一番新しいニュースで興味を持ったのが、黒川検事長の賭け麻雀で辞職したことに對して、安倍総理大臣と法務大臣の処分に対する見解の違いがあること。

法務大臣は法務省や内閣とさまざまな協議をして、内閣が決定したものを検事総長に伝え、そして検事総長がそれを材料に処分の方法を決めたと云う。かたや、総理大臣は法務大臣から報告があったことを了解した、とのこと。明らかに2人の話の筋が違っている。さて、どちらが正しいものやら？

これまでのモリカゲ問題などは大昔の2~3年前の話で、記録も残っていない、いや残していないから検証するのが難しかったのだけれども、今回はつい数日前のこと。したがって、国民も流れはよくわかっているから判断はしやすい。

人を「募集する」と「募って集める」は違うという閣議決定(?)や、ホテルに人を集める相談をし見積もり書も請求書もないなどと、自分の都合のためなら既定の解釈・常識までを変更することができる? ルイ14世とはよく言ったものだ!

私たちの「NPO法人 ころも21」は未来の子どもたちを正しく、たくましく育てようとしている。

末は博士か大臣か、と言われていたけれど、大臣にはなるなと教えなくてはならないのは寂しい限り。

(金子 敏郎)